

1. 学校の教育目標

本校は栄養士養成専門学校として、恒に社会で求められている栄養士を養成することを目的としております。その為、専門学校卒業生として即戦力として働ける技術、知識の修得を目指します。また常に人から信頼される栄養士となるべく人間教育や・コミュニケーション能力向上にも取り組んでまいります。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・基礎学力不足の生徒へのフォロー
- ・社会適応力の強化の為の特別講習の実施
- ・生徒の退学および欠席遅刻数を減らす（適応障害者やメンタル的に弱い者への対応強化）
- ・アクティブラーニングを活用して学生たちが主体的にグループで協力しながら課題を解決できる力をつける

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|---|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・専門職大学への移行構想は一時中断したが、栄養士の社会的ニーズを常に意識した柔軟でオリジナリティを重視したな教育の計画をしている。
- ・適応障害についての認識が広く伝わり、多くの教員が対応できるように勉強会も開催されている。
- ・(管理) 栄養士資格試験が専門記憶を求める内容のため、まだ知識記憶型の授業が全体の多くを占めているがこれは資格試験の特徴上やむを得ないと認識した。

② 今後の改善方策

- ・ 文部科学省が策定した「職業専門(短期)大学」への移行が可能か引き続き慎重に将来構想として検討していく。
- ・ 問題のある生徒のカウンセリング能力アップのための研修を増やす。

③ 特記事項

(2) 学校運営

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|---|
| ・ 目的に沿った運営方針が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 人事、給与に関する規定等は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

すべて解決済み。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(3) 教育運営

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|---|
| ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がおこなわれているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

栄養士養成課程として、厚生労働省より認可を受けていることにより、指定される必修科目以外で実践的なカリキュラムを体系的に組む時間的余裕があまりない。また時間的な制約で教員向けの研修が足りない。

② 今後の改善方策

少ない時間でも可能な教科の中に業界等で働く方を特別講師として迎え入れ、生徒・教員共現場でのマネージメント等の講義、実習を行う。

③特記事項

(4) 学修成果

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|---|---|---|
| ・就職率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・退学率の低減が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の | 4 | ③ | 2 | 1 |

| | |
|-------------|--|
| 改善に活用されているか | |
|-------------|--|

① 課題

- ・卒業性の社会的な活動を調査・評価する情報が完全でない。
- ・退学率を低減させるための施策は行っているが、退学率減少効果が期待通りにでない。

② 今後の改善方策

- ・まず卒業生・在校生から社会適的な活動が報告できるシステムを作る。
- ・メンタル面での退学者が増加しているため、教員のカウンセリング力の強化を検討。

③ 特記事項

(5) 学生支援

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|---|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学生の健康管理の担う組織体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・保護者と適切に連携しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・授業修了後、Wスクールやアルバイト等で、課外活動ができる学生が少なく、クラブ等が作りにくい（作っても長続きしない）が各種イベントや催しの案内を学生がよくわかる場所に掲示や持ち帰りできるように工夫している。
- ・卒業生を支援できる体制が少ない。

② 今後の改善方策

- ・課外活動の奨励&補助の検討。
- ・ホームページ・SNS等を活用した卒業生の情報発信。

③特記事項

(6) 教育環境

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|---|
| ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

年に2回に防災訓練を行っているが、生徒に浸透しているか不明。

② 今後の改善方策

消防署等専門家の講習会開催の検討

③ 特記事項

東南海大地震に備えての津波等防災計画が必要か。

(7) 学生の受入れ募集

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|------------------------------|---------------------------------------|---|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

少子化の影響により、生徒が減少する中、生徒取り込みのためAO入試等多様な入試方法での出願ができるようになったが、その分高校の進路指導担当者や出願者が混乱する状態が続いている。

② 今後の改善方策

文科省が計画している高大接続システムに対応できる新しい募集方法の検討。

③ 特記事項

少子化と大学全入&高卒者就職求人の拡大により学生の確保が益々難しくなっている。

(8) 財務

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|---------------------------|---------------------------------------|---|---|---|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・顧問税理士による会計監査を実施しているが第三者による会計監査が行われていない。
- ・近年、法人として新校舎を建て続けに2棟建設した影響で経常的には赤字になっている。

② 今後の改善方策

- ・会計監査方法の検討。

③特記事項

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|---|---|---|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・自己評価を公開しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

- ・昨年度の自己評価による改善が完全ではない部分が見受けられる。また職員室内での個人情報管理ができていない部分がある。

② 今後の改善方策

- ・改善が達成できるように問題点を明確化する、

③ 特記事項

- ・ 3年前より「自己評価」は作成&公開済み

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1 | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|---|
| ・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

地域の対する公開講座・教育訓練は時間的な制約や教育現場の労働環境等で問題があり、いままで積極的に行われていなかったが、各種団体への講習会実施や会場貸し出し等を行うようになった。

② 今後の改善方策

通常の授業に無理のない公開講座等の検討。
ボランティア募集情報の積極的な掲示。

③ 特記事項

姫路市農政課とのコラボによる事業が学園全体で拡大している。